

## エーシャス・イファー・モハメッド（モルディブ）



アッサラーム・アライクム（みなさまに平安がありますように）

私はモルディブから来ました、イファーと申します。モルディブの国家防災局で緊急事態のオペレーションなどの業務を担当しています。私は、2021年1月24日に災害管理のキャリアをスタートしました。現職に任命される前は、緊急対応官のポストを務めていました。

国家防災局の目的は、緊急事態や災害に備え、強靱な国づくりを目指すことです。また国家防災局は、災害リスクの特定と軽減、コミュニティにおける備え、総合的な対策活動、復旧プロセスの検討、より包含的な対応策の実施などを行っています。

モルディブは標高の低い小さな島々から形成される国で、その平坦な地形から国全体が物理的に災害に対する脆弱性を抱えています。またモルディブでは、高潮、雨水による洪水、都市火災など、発生の頻度が高い災害に遭遇しています。このため、国家防災局の最も重要な目的の一つは、国家レベルで災害リスクを軽減し、防災を主流化することです。これには、計画のプロセス、関連する法案や計画の確立などが含まれています。

私は現職において、緊急オペレーション・センターで緊急事態の重要な担い手となって業務に従事してきました。また現在では、緊急事態における救援や人道援助の調整、災害後の評価などを担当しています。さらに、関係機関と協調的な対応をするためのオペレーションの強化や、緊急対応に向けた地方自治体での対応も私の任務となっています。さらに、さまざまなステークホルダーを対象とした災害リスク管理に関する研修などの司会なども務めています。災害に強い国という国家防災局のビジョンを達成するため、島しょ国における災害管理計画（IDMP）をコミュニティで実施したり、災害弱者を対象とした防災の啓蒙活動を行ったりしています。また、コミュニティ災害対応チーム（CERT）を設立し、災害対応に関する特別な訓練なども実施しています。

アジア防災センターが、アジア全域のメンバー国において、防災分野におけるイニシアチブを強化し、また研究活動を促進し、防災を推進するために継続的に尽力していることについて、あらためて感謝の意を表したいと思います。モルディブを代表して、2023年度の客員研究員プログラムに参加できたこと、防災についての理解を深める機会を与えていただいたことについて、心から感謝いたします。